

HCC ニュース(仮)

ホノルルキリスト教会 日本語部

2014

No.1

January

主 題：「みんなで育てよう！御霊の実」

主題聖句：「御霊の実は、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制です。このようなものを禁ずる律法はありません。」

(ガラテヤ人への手紙 5 章 22, 23 節)

今月の特集

- 2014年 主題(聖句)について
- 2014年 活動方針
- シェパード委員会の活動方針／紹介
- 地区制度の導入について

目次

1. 2014年主題(聖句)について : 関 真士 牧師
2. 年(月)間テーマについて : 関 真士 牧師
3. 2014年シェパード委員会活動方針: 石井 真澄
4. 地区制について : 真柴 香
5. シェパード委員会 紹介
担当者からの挨拶／活動紹介
(ミニチャーチ部/礼拝部/ミニストリー部/総務部/財務部/弟子訓練部)
6. 日本語部 財務便り : 加藤 誠彦
7. こんな時どうする?(Q&A)
8. 活動報告&掲示板
9. 編集後記

ホノルル教会 日本語部 ミッション (召命)

私たちは、全ての人がこの世において受ける傷から癒され、聖化の道を歩み続けるために、神のみ言葉に聴き従い、祈りと賛美を捧げ、互いに仕い合うことにより、御霊の実をハワイの土地で大きく実らせます。

Honolulu Christian Church Japanese Division's Mission:

It is our mission that all people will receive healing from inflictions received from this world. In order to continue on the journey of sanctification, we will listen to and obey God's Word, lift up prayers and praises, and serve each other. By doing these things, we will bear much fruit of the Holy Spirit here in Hawaii.

2014年 主題(聖句)について 関真士 牧師

● 年間聖句の選定方法について

これまで、年間聖句は、牧師が祈りの中で決めていました。しかし、2014年からは、初めての試みとして、シェパード委員会で決めることにしました。これは、牧師がそのように提案し、委員の皆様が承認してくださいました。

その意図は、教会は「キリストの体」であることを実感したいと考えたからです。もちろん神は、牧師に教会の進むべき道を御言葉によって示してくださいます。しかし、一方で、神は牧師だけに語るわけではありません。もし、私たちが、同じ一つの体であり、同じ主に導かれているのなら、神は、牧師にも、教会にも、ご自身の御心を示してくださいます。

そして、シェパード委員一人ひとりが導かれていることをシェアした時、一つの方向性が出てくるのです。不思議です。まさに聖霊のお働きです。そして結果として、牧師に示されているものと一致するのです。いえ、一致しなければおかしいのです。

そのようにして、今年は上記の聖句と標語に決まったのです。私たちは、この一年間「御霊の実」を意識していきたいのです。

● 御霊の実とは？

まずはイメージしてみましょう。自分たちが果樹園にいる様子を。その園には、色とりどりの美味しいフルーツがたくさん実っているのです。愛の実、喜びの実、平安の実…、その実を食べながら歩いている様子をイメージみましょう。

教会の中には、まるで果樹園のように、愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の実が結ばれるのです。その実はどんな味がするのでしょうか。御霊の実を結ぶのは、私たち一人ひとりであり、お互いにその実を食べ合うのです。そして、それは教会の中だけの楽しみに終わらず、その実を教会の外に人にも食べてもらうのです。

● 御霊の実の育て方

さて、「御霊の実を育てるために、私たちは何をしたらいいのでしょうか。」それはまず、肉の実を結ぶ古い木を切り倒すこと事から始まります。

「肉の行いは明白であって、次のようなものです。不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、魔術、敵意、争い、そねみ、憤り、党派心、分裂、分派、ねたみ、酩酊、遊興、そういった類のものです。前にもあらかじめ言ったように、私は今もあなたがたにあらかじめ言っておきます。こんなことをしている者たちが神の国を相続することはありません。」(ガラテヤ書5章19節~21節)

● 御霊の実を育てるために悔い改める

どうしたらこのような実を結ぶ古い木を切り倒すことができるのでしょうか？ その方法は「悔い改め」です。神の祝福は、いつでも「悔い改め」から始まります。自分自身が、「肉の実」を結び、それを隣人に食べさせてきたのではないかどうかと、自分自身を顧みることです。

エバは、禁断の木の実を食べ、それをアダムに食べさせて以来、私たちは、食べさせてはいけない実を隣人に食べさせ、自分自身も食べてきたのではないのでしょうか。

個々人の程度の差はあるにしても、そのような罪深い自分自身の悔い改めから、始めていきたいのです。

もちろん「悔い改め」は、自分自身の気づきと自発に基づいて行われなければ意味はありません。どうぞ、このお勧めを心に留めていただいて、それぞれが神の御前で祈っていただきたいのです。

私たちが、悔い改めることによって、肉の実を結ぶ木は切り倒されるのです。そして、そこから新しい木を育ち、御霊の実を結び始めるのです。

● 行動規範を実践する

ホノルル教会のミッション・ステートメントの行動規範(コアヴァリュー)に明記されているように、私たちは、御霊の実を、神と隣人との関係、その関係を持つ主体としての自分という観点から、さらに三位一体の神との関係において理解しています。

天の父なる神との人格的關係により、自分自身が愛、喜び、平安に満たされます。

キリストの心を持ち、互いに仕え合い、寛容、親切善意を持って他者のために自分を捧げます。

聖霊を悲しませないよう、誠実、柔和、自制します

私たちは、自分と神との関係において、愛、喜び、平安の実を結び、その実が、隣人との関係において寛容、親切、善意の実となり、さらに自分自身の内に、誠実、柔和、自制という実が結ばれるのです。

さらに、この3つの要素はお互いに循環していて、一つの実として統合されるのです。この9つの実が単数で一つの実として聖書に記されているのは、御霊の実が主イエスのお姿を現していることを示しています。

私たちが、御霊の実を育てることは、主イエスのお姿に変えられていくことであり、それが聖化であり、癒しなのです。

● 御霊の実を結ぶ秘訣

御霊の実を結ぶ秘訣は、「御霊によって歩むこと」(ガラテヤ書5章16節)です。聖霊は、私たちの内側で働いて、悔い改めに導くことで古い木を切り倒し、御霊の実を結ぶ木を育ててくださるのです。

ですから、この一年間、いえ今年に限りませんが、御霊によって歩むことによって、神との関係を深め、隣人との関係を深め、その関係を持つ主体である自分自身の成長を求めていきます。教会のプログラムやイベントにおいても、そのことを意識して行っていきます。どうぞ「志を一つ」にして、「みんなで御霊の実を育てていきましょう！」

年(月)間テーマについて 関 真士 牧師

弟子訓練部は、シェパード委員会の一部です。牧師が担当しています。あえて、一部門という形で牧師の務めを置いたのには、二つの理由があります。

一つは、牧師が本来の牧師の務めに専念できるようにするため。もう一つは、教会員一人ひとりがキリストの体の一器官として、賜物を活かすことができるようになるためです。

以下の年間の予定は、牧師がどのようなスケジュールで、教会の霊的成長を求めていくかを表したものです。この流れに沿って礼拝のメッセージも語られる予定です。

1-2月

テーマ「みんなで育てよう！御霊の実」
御霊の実とは？どうやって育てるのか？
何のために育てるのか？

3-4月

テーマ「主の受難と十字架 復活」
3月5日(水)から受難節が始まります。
4月18日(金)聖金曜日(グッドフライデー)
20日(日)復活祭

今年は、受難節のデヴォーションのために小冊子を用意する予定です。

十字架と復活の理解を深め、個人的な十字架体験、復活体験を持つことを求めます。

5-6月

テーマ「聖霊降臨、教会の誕生、宣教へ」
6月8日(日)洗礼降臨記念日(ペンテコステ)
5月は、ホノルル教会の教会創立記念日でもあります。

個人的に体験した十字架と復活の恵みが、教会という共同体に反映していく。

聖霊の満たし、教会の意義、力強い宣教(伝道、奉仕)を求めます。

7-9月

テーマ「御霊の実の結実—信仰の現実化」
愛、喜び、平安、寛容、親切、善意、誠実、柔和、自制の実の結実を願い、また現実の生活の中でいかに実際に御霊の実を結び、また食べていただけるか。

この真理を、目に見える形で、味が分かるまでに、体験することを求めます。

10-11月

テーマ「リトリート 御霊の実は十分に結ばれているだろうか？」

「リトリート」とは、神の御前に静まって自らを振り返り、信仰を深める時です。

特別な集会を持つかは未定です。その時の教会の状況に最も適した形でリトリートを行います。

12月

テーマ「感謝と喜び」
クリスマスの喜びと共に、一年の感謝を捧げる時とします。

2014年シェパード委員会活動方針について

石井 真澄 シェパード委員会 委員長

● クリスマンとして

私たちはイエスによって、この世の苦しみから救われました。私たちは神に選ばれました。何故でしょうか？ それは、この世の模範グループになるためです。自分に出来る事で、互いに仕え合いましょう。これに勝る喜びは、他にはありません。

● ミッションステートメントの制定について

私たちシェパード委員会が発足する前に、暫定委員会として、約6ヶ月間、普遍的教会、教団、HCCの歴史、現状のHCC、ハワイの日本(系)人、日本人の特性などについて慎重に勉強会を重ね、祈り求めて、ミッションステートメントを制定しました。

● 執事会からシェパード委員会へ

最近、「執事会からシェパード委員会への変更の意図は？」という質問を頻繁に受けます。これは、普遍的なクリスマンとしての使命と我々HCC日本語部に与えられた特別な召命、ミッションステートメントに関係しています。我々は、古い自分を捨て、新たな聖化の道を歩み続けていますが、誰でも過去の自我が顔を出すことが大小関わらず、経験あるのではないのでしょうか？ 栄化という終着駅に向かって途中、聖化の線路を脱線してしまう弱い我々です。

● 霊的成長のためには

我々は、一人では聖化の道＝霊的成長をはかれないのです。この成長のためには3つの関係が必要なことは、皆さんもご存知の通りで、しかも、3つを同時に引き上げることが重要です。

● 縦、横、自己の3つを同時に引き上げる

主日礼拝の日を考えてみましょう。礼拝を捧げ、コーヒーアワー、スモールグループにて交わる。これを時間に換算したら、約3-4時間ではないでしょうか？ 我々の人生全てが、聖化の過程ですから、

1週間で換算すれば、24×7で、168時間です。極論ですが、日曜日のみ関係性であると3/168時間です。これでは、弱い我々にとって、あまりにも、脱線の確率が高くなりますよね。

● 24時間7日、聖化の道を歩み続ける

我々、シェパード委員会は、信徒一人ひとりが、共に、24時間7日、聖化の道を歩み続けるための環境をサポートしていきます。これが、執事会との大きな違いです。

● 信徒一人ひとりの器、栄養として

3つの関係を促進させる、一人もこぼれない、器(=組織)の管理を、シェパード委員会の各委員会が担当、牧師(=弟子訓練部)は、この器の中で、皆さんが御霊の実を成長させるための栄養剤に専念するイメージです。

ハワイの土地で皆さんと一緒に支え合いながら、御霊の実を結んでいきましょう。

シェパード委員会 目的: ミッションの実現

活動内容: 行動規範の実践管理

- 全人格的癒し(3つの関係性)
 1. 縦の関係: 愛、喜び、平安
 2. 横の関係: 寛容、親切、善意
 3. 自己の関係: 誠実、柔和、自制
- 霊的成長: 3つの関係性が同時に進行することにより、結果、御霊の実が成熟する。全ての実が同時に成熟する必要がある。霊的成長は、3つ同時、また、相互性がある。初めて成長する。
- 時間的観点: 24時間7日全てを捧げる。＝生活の土台
- 地理的観点: 地区制導入により、各自の網の目がつながり合う。(※別項参照)
- 手段: 御言葉(聖書)、祈り、賛美
- 活動フィールド: 以下の4つの器(活動領域)により、霊的成長を支援していきます。

4つの活動領域

	礼拝	ミニチャーチ	ディボーション	ミニストリー
御霊の実	愛、喜び、平安	寛容、親切、善意	誠実、柔和、自制	全て
対象	個人	教会員(未信者)	個人	複数
主な関係性	縦の関係	横の関係	聖霊と自己の関係	全て
担当部署	礼拝部	ミニチャーチ部	ミニストリー部	シェパード全体

シェパード委員会の紹介

教会の霊的羊飼いとて、父の心を持って群の全体に気を配り、ミッション・ステートメント実現のために、各部会の管理、支援を行います。組織運営管理を以下の部会が担当、弟子訓練部は、会員の霊的成長に集中します。

理事会

教会の不動産の管理全般。理事会は日英合同で運営します。

役員：松田容子、トム アイゾン、村田正智、玉川トーマス、加藤誠彦

シェパード委員会

委員長：石井真澄

副委員長：松田從旨、加藤誠彦

委員：高橋明子、真柴香、バイヤース末子、村田正智、玉川トーマス、角田利光、関真士

礼拝部：高橋 明子

主日礼拝に関わる働き全般を担当します。成人礼拝のみならず、ユース礼拝、キッズ礼拝を運営、管理します。

ミニチャーチ部：真柴 香

教会に真の交わりを実現するために、教会の中に「小さな教会ミニチャーチ＝地区性」を運営、管理します。



上段左から、石井、関、バイヤース、高橋、真柴
後段左から、玉川、角田、松田
丸円左から、村田、加藤

ミニストリー部：バイヤース 末子

ミニストリーとは、各自が神の召命に従い、賜物を活かして用いる活動です。ですから、実に多様な様々なミニストリーが存在することになります。当部は、各ミニストリーの管理、支援を行います。

以下、現在のミニストリーです。

フラチーム-----月一回(第三聖日)礼拝での奉仕、葬式、結婚式、クリスマスシーズンでのマキキ教会と合同ハレナニ慰問、クワキニ慰問、ピアノ発表会、連合「心に光を」チャリティーコンサート、キャンドルライトサービス、特別イベント(日英合同、リトルト)などです。

聖歌隊-----月一回(第四聖日)礼拝での奉仕、葬式、キャンドルライトサービス、連合「心に光を」チャリティーコンサート、特別イベント(日英合同、リトルト)

賛美チーム-----毎週主日礼拝での奉仕、特別イベント(ホノルル教会のリトルト、日英合同)、キャンドルライトサービス

ランチミニストリー第一主日と第二主日のランチの奉仕

文芸部-----月一回に月報に記載、文化祭に作品の展示

イベント部：玉川トーマス

教会3大礼祭(クリスマス、グッドフライデー&復活祭、ペンテコステ)、冠婚葬祭、その他イベントの企画、運営、管理を行います。

財務部：加藤 誠彦、村田 正智

教会の会計業務一般。毎月の会計報告、毎年の年度会計報告、年度会計予算案を計画、運営管理します。

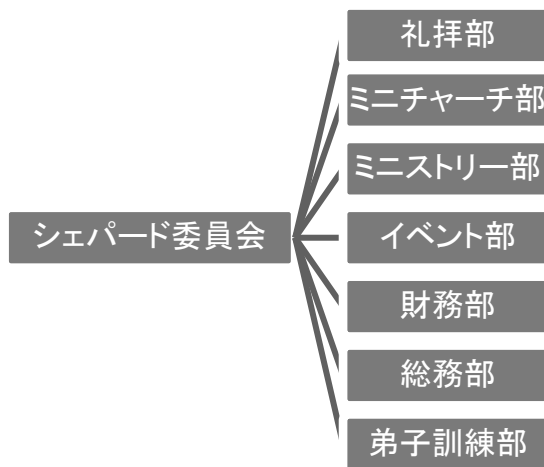
総務部：松田 從旨(主事)

教会の事務一般業務を行います。また、法務管理として、教会の運営が、法的(教会憲法、定款、教会総会など)に適正に行われているかを随時チェックします。

弟子訓練部：関 真士／角田 利光

教会員全員を対象とし、霊的成長を支援します。弟子訓練部は、上記全ての各部と連携して、ミッション・ステートメントを各部と連携して実現します

シェパード委員会組織図



地区制度の導入について

真柴 香

● 地区制導入の意図

「霊的成長を図るために、3つの関係を同時に引き上げるためのサポート。」これが、我々、シェパード委員会の大きな使命である以上、地区制の導入は、とても重要な役割となります。漁師の網に例えられますが、縦の関係、横の関係、結び目をハワイに張り巡らすイメージです。これにより、同じ地域でのよしみで思いがけない関係が広がるかもしれません。また、各自がそれぞれ地区グループに所属してつながっている事は、一人ひとりの意識が教会の網の目を強くしていることになるのです。

本当にヘルプが必要なとき、近所の助けは有難いものではないでしょうか。

● 宣教の土台として

我々、クリスチャンの大きな使命として宣教があります。我々、教会員のみで網を形成するだけにとどまらず、この強い網により、一人でも多くの未信者を救う、すなわち、宣教の大きな土台にする意図があります。

● 地区制 概要

こぼれない網の形成という観点から、以下の7地域に分け、各地区のリーダーにシェパード委員会のメンバーが就任しています。また、誤解して欲しくないことは、ミニチャーチを地区で形成して、主日礼拝を無くす、平日に集うことを目的としていません。あくまでも、我々が霊的成長するために、

24時間7日間、3つの関係を促すために「互いに仕合うことにより霊的成長を図る」ことが目的であり、一人ひとりができる範囲で参画していただければと思います。共に祈り合う、電話をする、教会と一緒に乗り合ってくる、など共に支え合いながら、御霊の実を成長させていきましょう。

地区制度 全体統括：真柴 香

以下、各地区責任者

1. ウエストオアフ：バイヤース 末子
2. ホノルル中央：松田 從旨
3. マノア：加藤 誠彦
4. カイムキ、ワイキキ：高橋 明子
5. ハワイカイ、カイルア：玉川 トーマス
6. 日本国内帰国者：角田 利光

日本語部 財務便り

加藤 誠彦

● 財務状況について

皆様の尊い献身がどのように役立てられているかについて、全ての詳細をご説明することは紙面に限りがありますので、控えさせていただきますが、概要でも、共有させていただきたく、以下、ご報告させていただきます。詳細の月次会計報告は事務室にファイルされておりますのでご参照ください。

2013年11月

前月からの繰越：----- \$49,072.98

献金収入合計：----- \$14,918.67

主な内訳

席上献金：-----\$1,771.20

月定献金：-----\$8,121.54

感謝祭献金：----- \$925.00

ユース・サンディースクール：-----\$49.08

等

支出合計：----- \$14,879.75

翌月へ繰越：----- \$49,111.90

こんな時どうする? (Q&A)

Q. 新しい集会を作りたい。

A. ミニチャーチ部担当(真柴)へご相談ください。

Q. 主日礼拝時の駐車場の登録申請をしたい。

A. 礼拝部(高橋)へご相談ください。

Q. 備品などを購入したい。

A. 開催される集会などにより異なります。
なお、不明な場合は、財務部へご相談ください。
例: 礼拝→礼拝部、集会→ミニチャーチ部、
ミニストリー→ミニストリー部 図書→総務部 等

Q. 週報(会報)に記載してもらいたい。

A. 総務部へご相談ください。

Q. TAX RETURN について

A. 財務部へご相談ください。

Q. 住所、電話番号が変更になった。

A. 総務部へご連絡ください。

Q. 礼拝の送迎をお願いしたい。

A. ミニチャーチ部(真柴)へご相談ください。

Q. イースター礼拝、敬老の日などについて質問がある。

A. 通常の主日礼拝意外、また、各種イベントは、
イベント部(玉川)へご相談ください。

Q. 礼拝の内容について伺いたい。

A. 礼拝部へご相談ください。

Q. 洗礼を受けたい、個人的な悩みを相談したい、
など。

A. 弟子訓練部(牧師)へご相談ください。

Q. 会議室を使用したい。

A. 英語部主事の平田ドン氏へお申し込みください。

Q. 教会に忘れ物をした。

A. 基本、2階の忘れ物コーナーに置いてあります。
主事(担当: 松田兄)が出勤している際は、確認
することも可能です。

掲示板

- 会報誌タイトル募集! : 会報のタイトルを募集
しています。office@hccjapan.org もしくは、
総務部担当: 松田まで。
- 会報情報を随時、募集します。告知、募集、
報告など情報がありましたら、
office@hccjapan.org もしくは、総務部担当:
松田まで。

礼拝部からのお知らせ

新年から礼拝開始時間の5分前から黙想の時間
を持ちたいと思います。

各礼拝者はこの5分間を、礼拝に備え、祈り、心
を静める時間としていただけたらと思っています。
礼拝5分前から礼拝堂に入る方は、他の方の祈り
などを妨げないようなるべくお静かにご着席くだ
さい。

(礼拝部: 高橋 明子)

キャンドル・ライトサービスについて

12月24日イブの夜に持たれたキャンドル・ラ
イトサービス。来場者が多く、急遽ラナイにイスを
並べたほどであった。今年も、光の装飾が素晴ら
しかった。何人もの方が、会堂に入った瞬間に感
嘆の声を上げていた。今回も総合ディレクターは
アイゾン直子さん、また照明関係はアイゾン・ト
ムさんが担当してくれた。ご夫婦の息の合った奉
仕に感謝である。照明の取り付け、また片づけに
も相当の時間と労力が要る。2014年は裏方を手
伝ってくださる方がさらに必要だ。

讚美の奉仕、司会、受付、アッシャー、通訳、そ
して今年もキッズゴスペルの賛美、降誕劇ビデオ
が大好評であった。集会の後には、心尽くしのお
料理が用意され、しばしの歓談の時を楽しんだ。

一つのイベントを行うためには、実に多くの
方々のご奉仕が必要だ。奉仕する私たちの願い
は、ただ一つ、一人でも多くの方々が救い主イエ
ス・キリストに出会うことである。そのために奉仕
出来たことを主に感謝したい。ハレルヤ!

(イベント部: 玉川 トーマス)



* キャンドル・ライトサービスでのキッズゴスペルの様子

おめでとう: 受洗

12月22日にアラモアナビーチパークで洗礼式が持たれました。

本間ティファニーさん、おめでとうございます。



* 右から2人目: 本間ティファニー姉

ようこそホノルル教会へ: 入会

12月22日の主日礼拝で転会式が持たれ、上田陽子さんがホノルル教会へ入会されました。

ホノルル教会へようこそ!



* 左から2人目: 上田陽子姉

編集後記

ようやくシェパード委員会の組織、方針などを紹介できることを嬉しく思うと同時に、発足から半年間、慎重にミッションステートメントの実現のために祈り求め、準備してきた結果、皆様への周知が遅くなりましたことお詫び申し上げます。

今後、皆様と会報を作成していきたいと思えます。ご感想、またアイデアなどがありましたらお気軽に、シェパード委員会へお寄せください。

発行所

ホノルルキリスト教会 日本語部

住所 2205 Oahu Avenue Honolulu HI 96822

電話番号 808-973-4335

編集者 浜住 司門

発行責任者 石井 真澄

<http://www.hccjapan.org>